

比例は共産党

今回の参院選。公示日の4日、河北新報は社説で「あの時が政治の流れを決定付け、国

のありようを大きく変える起点になった。場合によっては後々、こ

なるかもしれない。」と書き出しました。

憲法改正が現実味



山形選挙区の太田としお候補

「結果次第で国の最高法規、憲法改正の発議が初めて現実味を帯びるからだ。」
昨年の衆院選で圧勝し、政権を奪い返した自民党。政権与党で3分の2を確保しました。参院選の先には改憲勢力を結集し、発議に必要な衆参両院での3分の2の確保が視野に入ってきます。

改憲勢力と最も正面からたたかいた平和を守る先頭に立ってきたのが日本共産党です。日本共産党は7月15日で党創立91周年。戦前から侵略戦争に命がけで反対を貫き、平和

安倍政権の反動的暴走を食い止める

の闘いは戦後、憲法九条に結実しました。日本の未来がかかった歴史的な参院選。安倍政権の反動的暴走を食い止めるには日本共産党の躍進以外にありません。



訴える比例の紙智子候補



15日、高橋ちづ子衆院議員が訴え



道万沼（どうまんぬま・庄内町）

大沼 浩

「道万沼」にも「二四倍親任『筆濃餘理』から「又余目ヨリ遙ノ東」でバチエラー氏語彙からTomamom r Toman沼、沼地を引き、多くのどうまん地名を集めています。

アイヌ語地名語源説はあまり人気がありませんが、道万沼と川の間の道満は地質的に通ずるみたいですよ。八ツ沼もやち・谷地沼かもしれません。道万と常万との関係ははつきりしません。

しない制限付きです。日本を「海外で戦争をする国」にして、国民の自由と権利は抑圧され、戦争動員体制がつくられてしまうことになりかねません。

大雨で15日7時 藤島川がはん濫危険水位越える

14日夜から15日にかけて大雨となり、午前2時に藤島川が2・91メートルはん濫注意水位3メートルに迫り、藤島庁舎職員が出動し待機しました。



藤島川 藤浪橋(上町)から川下へ(15日朝8時頃)

その後、水位は徐々に高まり、3時に避難判断水位3・5メートルを越



藤浪橋(上町)の水位計(15日朝8時頃)

え、7時に、はん濫危険水位4・2メートルを越え、9時に最大推移4・91メートルに達しました。

長沼では温泉町内会・彦九郎堰水門を閉じて藤島川からの逆流を防ぎ、消防団が出動し、東北農政局の排水ポンプを使って排水作業をおこないました。

梅雨後半の大雨は8日に続いて2回目となりましたが、今回は平野部で小康状態を保つため大事に至りませんでした。

求める「決議である。同趣旨の決議は2010年以来、毎年採択されているという。同24日付「潮流」は、マイケル・ダグラス、ロバート・デ・デイモンら著名な俳優たちが、4年前オバマ大統領が「核兵器のない世界を追求する」と宣言した、その一節を自分の言葉で語りかけている。「平和の追求を怠るなら、永久に平和をつかむことはできない」「世界は変えられないという声に耳を貸してはならない」など。

子どもの声には耳を貸そう。先月24日沖縄全戦没者追悼式で、1年生の安里くんが「へいわってすてきだね」という詩を読み大きな反響をよんでいるという。最後を紹介する。へいわなかぞく、へいわながつこう、へいわなよなぐにじま、へいわなおきなわ、へいわなせかい、へいわってすてきだね。これからも、ずっとへいわがつくようにぼくも、ぼくのできることからがんばるよ。



敬老会の「よ」

先日、わが町内会(会長・本間正実氏)で敬老会が開かれた。数え73歳からの参加だから私の参加は来年からなのだが、老人クラブの役員で会場の設営と取り持ちが仕事。

▼民生委員、保健推進員、婦人部長さんなどご婦人方がチラシズシを作つての賑やかなお祝いの会だ。

▼市が体育館でおこなう敬老会は人数が多いとかで70歳からのものが75歳に引き上げられたのだという。そんな話から市では敬老会を町内会へ卸したいようなどの話。

▼案外具体的な話みたいだ、というのは、町内会が実施する場合、参加人数に関係なく資格者1人1100円の補助金だというお酒が入つてからの話だった。

▼だから話を聞いて、

町内会でするんだから市のは止めてもいいんじゃないの、という人がでてくる。しかし、地区の中では町内会で実施しているところは半数だというから、委託を受けられない町内会がでてくるかも知れない。

▼ともあれ、これも合併後の経費節減の一つか。なるべくできるものから町内会へ投げ出したいものの一つだろう。市と市民のつながりが一つ減ることになるのではないか。

▼70を75に引き上げ、88歳と77歳に出ているお祝い品が片方なくなつたように、そのうち対象者数から出席者数へ補助金が削られてなくなるゾ。役所は出さない方向で考えるからナ。

▼だから好んでこんな話には乗るべきではないぜ、というのが俺の考えだ。賛成者あり。

(石川)



消防団が出動し、東北農政局の排水ポンプで排水作業(長沼・彦九郎堰水門)

6月16日藤島で平和行進歓迎集会が開かれた。8月の広島・長崎での原水爆禁止世界大会に向けての行進である。しんぶん赤旗6月26日付1面トップの見出し

「核兵器のない世界実現へ」 全米市長会議が決議 ハリウッドの俳優たちも

「しんぶん赤旗」を読んで 青山 崇

赤旗特派員の記事である。人口3万人以上の市長が参加する会議で、「全世界の核兵器を廃絶し、軍事費を国民の必要とする分野に回すために指導性を発揮するようオバマ大統領に

蛍草後期高齢手をつなぐ

工藤 博司



(画・加藤貞雄)



「螢草」は露草の別名。山野へ踏み込まなくても、道端や屋敷内で広く見ることが出来る。折れ曲つたような茎と先端が尖つた葉がみずみずしく、小さいながら濃い水色の花が印象的。花に小さな黄と白の部分があり、それがあたかも「螢火」を思わせる。地をおおうように咲き競うさまは、質朴ながら清浄感を与える。

「後期高齢」とは差別的官製語で、あまり使いたくない言葉なのだ、高齢に達した御夫婦が、お互いを労りながら手を取り合っている姿は、若いカップルとは違つた清々しさを覚える。

現在、七十代半ばから八十代以上の方々は、戦前戦後の激動の時代を過ぎた人々で、社会保障費を目的かたきにする自公政権と官僚のふるまいには強い憤りを禁じ得ない。